

お客様の安心と信頼のため、 自分が作るものに責任を持つ。

有限会社丸栄水産
後藤博之 代表取締役

全国にもその名を知られる 干物のまち・沼津

沼津は言わずと知れた干物のまちです。定番のマアジをはじめ様々な干物が作られ、生産量は、国内トップクラスを誇ります。沼津における干物作りの歴史は、江戸時代に始まると言われます。それが全国有数の一大加工産地になっ

たのには、雨が少なく強い西風が吹く気候、柿田川の豊富な湧水という加工に適した地の利がありました。そして近代になると、魚を包丁で開き、塩汁に浸けて天日干しするという「小田原方式」の製法を全国に先駆けて取り入れ、加工技術を発展させてきたのです。また、発泡スチロールの開発や冷凍技術の向上で、鮮度を保ったままの輸送が、さらに天候を問わず干し作業ができる乾燥機の登場で、大量生産が可能にな

りました。これにより、九州などで獲れた魚を沼津で干物に加工し、大都市へ出荷できるようになったのです。

サラリーマンから 干物業界の新参者へ

私がこの会社を立ち上げたのは1973年で、沼津では最後発の干物屋です。元々は東京でサラリーマンをしていたのですが、色々な縁が重なってこの仕事を始めました。本当なら、親類のいるベネズエラへと家族と移民する予定だったのです。それが様々な事情で叶わなくなり、沼津で水産加工をしていた叔父を手伝うようになったことがきっかけで、干物製造を始めました。

しかし、最初は思うようにいきませんでした。長年にわたり代々続けている店が多い中、新入りではなかなか受け入れてもらえない、競り権が無いため市場で魚を買えない、といった苦勞もありました。それでも起業する前に培った知識や人脈を活かして、徐々に商売を軌道に乗せていくことができました。

既成概念にとらわれない 独自の流通の開拓

従来、干物は市場に出荷して競りにかけられ、それを買い手が買い付け、スーパーなどで小売りされる流通形態でした。競りではやはり、形、色、艶といった商品の見た目の良さが重視されます。干物は塩分が多い方が、色艶が良くなりますが、弊社の製品は魚本来の旨味が味わえて、健康志向にも合う、塩分控えめの甘塩造りです。つまり、競りではどうしても良い値段がつかないのです。「自分が作ったものは、自分で責任を持って売りたい。」と感じていた私は、思い切って市場を通す売り方から、お客様へ直接販売する形へ変えることにしました。

幅広いニーズに応える 技術力と柔軟性

流通方法を変えるにあたり、よりお客様のニーズに応えられる生産体制を整えました。まずは量販店の要望に合わせて、出荷数を増やすため、加工は手開きだけでなく機械も導入しました。手開きはやはり干物の仕上がりが綺麗ですし、絶やしていけない伝承の技です。ただ、どうしても生産量に限界がありますから、機械開きを併用してバランスを取ることにしました。



また、加工会社10社と協力体制を組みました。干物加工と一口に言っても、会社によって得意とするものが異なります。そこで、各々の特徴を活かしながら加工品質を統一させることで生産効率を上げ、商品の種類と質を共に充実させました。

オープンな姿勢が 人との縁を生む

私は会社のすべてをオープンにすることで、人が集まりやすい雰囲気を作りたいと考えています。人が集まれば、自然と情報も集まってきます。それが縁となって、さらなる発展にも繋がっていくからです。例えば、東日本大震災の直後には、ドライバーから、付き合いのある



岩手の盛岡水産株式会社が被災したことを聞きました。売る魚が無くて困っているというので、即座に4トントラック一杯に干物や魚を積み込み、数人のドライバーに車を乗り継いで運んでもらったのです。このことが縁で、今でも毎月盛岡水産から注文をいただいています。

未来へ継承するために 新たな挑戦を

最近では、富士宮の養殖ニジマス「富士山サーモン」の干物も作り始めました。養鱒場の依頼から始まったのですが、これは新たな挑戦でした。ニジマスは特有のぬめりがあり、これを取り除くのが難しいのです。ただ、私は依頼された仕事は断らないと決めているので、現場を任せている息子と共に開発に取り組み、ようやく納得のいくものができました。現在名古屋の百貨店や、岐阜、長野のお客様に好評をいただいています。



近年はマアジを中心に漁獲量が減少し、原料確保が難しくなっています。干物作りを続けていくには、新たな原料を取り入れ、海洋資源を守っていく必要があります。お客様から「魚の加工なら、丸栄へ」と安心と信頼をいただけるような、お客様のニーズに合った技術をこれからも提供していきたいです。

企業データ



- 会社名 / 有限会社丸栄水産
- 代表取締役 / 後藤博之
- 所在地 / 静岡県沼津市我入道秋葉町448
- TEL / 055-931-3674 FAX / 055-934-0398
- 設立 / 1973年1月8日
- 事業内容 / 干物製造、卸、販売
- http://www.marueisuisan.jp

